

国立科学博物館



中里研修



入学式



中学校生活スタート!!



学校法人 小林学園 本庄東高等学校附属中学校

きりぐるま

第62号



キッズニア



歌舞伎



京都奈良研修

高校生活への決意

入学する前は新しい世界に飛び込むことに不安がありました。その感情はすぐに消えました。それは、私たちのことをいつも考えてくれる先生方と切磋琢磨し合える仲間たちに出会うことができたからです。とくに、三年間続けたサッカー部で、部長を務めたことが思い出深いです。尊敬できる監督や先輩、優しい仲間たちに出会うことができ、楽しく活動することができました。この三年間、目標にしていた文武両道の生活を送れたと思います。それは決して当たり前前のことではなく、先生方、家族、友人、周りの全ての人の支えがあったからだと感謝しています。高校へ進学してもその気持ちを忘れず、一日一日を大切に夢に向かって頑張っていきたいです。(田村晃太郎)

合唱コンクール



江戸東京博物館見学 大相撲観戦



オーストラリア修学旅行

祝 中学修了

三年生の皆さん、中学修了おめでとうございます。先輩方は私たちのお手本として、常に先頭に立ち、導いてくれました。入学して間もない頃、心細くて不安だらけの私に先輩はバスの中で気さくに話しかけてくれました。私はとても心強く思い、学校に行くのが楽しくなりました。先輩方の優しさに感謝の気持ちでいっぱいです。春から、この校舎では先輩方に会えなくなると思うと少し寂しいです。しかし、先輩方が築いてきた附属中の伝統を私たちが受け継いでいきたいと思います。三年生の皆さんのご活躍を附属中から心よりお祈りしています。また高校でお会いできる日を楽しみにしています。(村瀬ありさ)

先輩へ贈る言葉



陶芸体験



きりぐるま祭



体育祭



ダンスルマー

三年生 オーストラリア修学旅行

三年生は、十二月十二日から十七日にかけて、オーストラリア修学旅行に行ってきた。天候に不安はあったが、多くの思い出を作ることができた。

私たち三年生は夏の盛りのオーストラリアを訪れ、異文化に触れることができた。最も思い出に残ったのは、「パロネラ・パーク」というメナ川の滝の畔にあるお城です。小さい頃からお城を持つのが夢だったホセ・パロネラは、土を山から掘り出し、壁を手で塗り、一目惚れした滝のそばに建てたお城です。私は、あの場所で見えた瞬間、確かに自分の何かが変わったのを感じました。自分の夢もいつかきつと叶うのだと信じられるようになったのです。そのためには、まず目の前のこと一つ一つを着実に取り組んでいこうと心に決めました。四月から始まる高校生活でも、このことを忘れないで努力を続けたいです。(木村奏美)



よって楽しい表情や悲しい表情に見え、まるで本物の人間のように感じた。能の奥深さを体感しました。クラス別行動では、東大寺南大門の金剛力士像の迫力と造りの細かさに圧倒されました。奈良時代の人々の技術力はとても素晴らしいと思いました。日本の様々な伝統文化に触れ、これまで以上に歴史や文化に興味を湧きました。今回の研修で学んだことを今後の生活にいかしていきたいです。(木谷光希)

一年生 京都奈良研修

二年生は、十二月十五日から十七日にかけて京都奈良研修に行ってきた。様々な体験を通して、日本の歴史や文化を学ぶことができた。

京都奈良研修では、能鑑賞や写経、朝のおつとめや北野天満宮の祈禱などの貴重な体験をすることができました。能鑑賞が印象に残っています。能でつけるお面には年齢があり、予想よりも若いお面で驚きました。また、お面の角度に



ばに自分の楽園を作り上げました。そこは、いわば「努力すれば夢は叶う」とを表した場所です。

私は、あの場所で見えた瞬間、確かに自分の何かが変わったのを感じました。自分の夢もいつかきつと叶うのだと信じられるようになったのです。そのためには、まず目の前のこと一つ一つを着実に取り組んでいこうと心に決めました。四月から始まる高校生活でも、このことを忘れないで努力を続けたいです。(木村奏美)

大会結果

三年生	優勝	羽瀨	真徳
三年生	準優勝	大谷	葉摘
三年生	三位	黒澤	健悟
二年生	優勝	腰塚	まこ
二年生	準優勝	篠原	瑞希
二年生	三位	高他	光来
一年生	優勝	庄司	拓哉
一年生	準優勝	長山	雅樹
一年生	三位	瀧	深月

百人一首大会

一月九日(水)、百人一首大会を実施した。全校生徒が一堂に会し、真剣に戦う姿は圧巻である。一年生は初めてながらも、冬休みに覚えた歌の一つでも多く取ろうとしていた。二・三年生はそれぞれに、「今年こそは」という意気込みをもって大会に臨んだようである。三年生の上位三名は、喜びの気持ちとともに後輩に向けて大会への熱い思いを語った。



三年生大相撲観戦
三年生は一月十八日(金)、大相撲観戦に行ってきた。日本の国技が持つ迫力を肌で感じられた。両国国技館に入ると、観客の多さに圧倒された。さらに驚いたのは、四方八方から飛び交う大きな声援です。注目力士の取り組みは特に盛り上がり、声援も一段と大きくなりました。迫力ある会場の雰囲気と、満員御礼の旗を見て、相撲が人気のスポーツだと実感し、日本の文化について学ぶことができたと思います。(植田武)